



愛川ふれあいの村 今月の風景

## 2024年12月 自然のたより

12月になり、ようやく寒くなってきましたが、日中は日差しが暖かく比較的過ごしやすい日が続いています。曇一つない晴天の日に視線を上げると、青空に映えるメタセコイアの並木が輝いて見えます。視線を下げると、落葉したイチョウが黄色い絨毯を作っています。葉っぱの絨毯や木の幹は、越冬する虫たちのゆりかごになり、春を待つ生きものたちで賑わっています。冬鳥も観られ、静かな冬の村で元気な声を聞かせてくれます。これから雪が降り、動物たちの足跡を見つけたら、動物をも身近に感じることでしょう。生きものの側で過ごす実感が冬でも湧いてきます。(石川)



冬のメタセコイア



紅葉とウスタビガ



雄のジョウビタキ



紅葉も美しいニシキギ



清楚なリンドウの花



種子を飛ばすウバコリ



オオモミジの紅葉



富士見小と見たシモバシラ



陽だまりで休むベニシジミ



ハラビロカマキリ



身軽なニホンザル



餌さがしに夢中のメジロ



朝日を浴びるイカル



エナガ何思う



餌をさがすヤマカラ

## トピックス

### ★初日の出★

12月に入り、だんだんと年越しの準備をしている頃でしょうか。師も走り回るほど忙しいという意味を持つ12月の異称である『師走』。年末へ向け、どの家庭でも、職場でも忙しくしていることでしょう。

さて、そんな年末を迎えたあとは、年始です。日本では、初日の出を見に行く方が大勢いると思います。

日本では見る場所によって、初日の出の時間がだいぶ違うようです。調べてみたところ、一番早いところは南鳥島5:27、東京は6:51、那覇は7:17となっており、一番遅いところは、与那国島の7:32だそうです(出典:アストローツ)。

ちなみに『日の出』とは、太陽の上端が地平線に一致した時刻を指します。しかし、地平線近くの太陽は大気の影響(大気差)によって、実際よりも浮き上がって見えることも。そのため、日の出予定時刻と差が生じることもあるようです。

また、日の出を待っている間は、じっと待つことが多いかもしれませんが、そんな時には、冬の夜空を見上げてみてはいかがでしょうか。冬は空気が澄んでいるため、星がとても良く見えます。「オリオン座」「おおひぬ座」「こいぬ座」「ふたご座」「ぎょしゃ座」「おうし座」の6星座が代表的な冬の星座です。この6星座には、必ず1等星があるため、見つけやすいです。特にオリオン座は「ベテルギウス」と「リゲル」という1等星が2つからなっていて、星と星を繋ぐとリボンのような形が浮かび上がってくるので、もっとも分かりやすい星座です。ただ、日の出の時間帯には、西に沈んでいる星座もあると思いますので、ご注意ください。元日にしか見ることができない&冬にしか見ることができないことを楽しみましょう。(大瀧)



## 生き物

### ★つばき★

とても艶のある濃い緑色の葉に赤や白の大きな花が特徴の椿が今年も咲き始め、冬の村に彩りを与えています。椿といえば、赤い大きな花。これ一択だと思込んでいたのですが、園芸種も含めるとピンクや黄色、まだら模様など2,000種以上の品種が発表されています。花のイメージにとらわれがちですが、冬でも葉を落とさない「強葉木」、つややかな葉から「艶葉木」、光沢をつばと読んだことから「つばの木」など、「つばき」の名前の由来には葉が関係しているようです。種からは、油が抽出でき、ヘアオイルやスキンケアだけでなく、食べると血液をサラサラにしてくれるオレイン酸も入っています。雪の白にも映える椿の花を楽しみたいと思います。(佐々木)



## 旬

### ★日本版上海ガニ★

中華料理で有名な上海ガニ。日本でも高級食材として人気が高いようです。そんなカニを捕まえて食べることが出来るとしたらどうでしょう。実は相模川やその支流の中津川にも棲んでいるモクスガニがそうです。上海ガニも正式にはチュウゴクモクスガニと言って、この2つは同じ淡水に棲む大型のイワガニ科のカニです。モクスガニの濃厚なカニ味噌やカニ肉は、本場の上海ガニに負けません。釣具屋さんでカニを捕まえる、網で出来た罟を購入しました。上手く行けば正月はカニ三昧です。モクスガニは日本全国の河川で捕獲することが出来ますが、地域によって禁漁期や捕獲方法に制限があるので注意が必要です。(高梨)



来月の見どころ  
冬、元気なツバキの花  
冬に咲く、ピワやツバキ、サザンカなどの花。どの花も元気いっぱいメジロやヒヨドリそしてハナアブなどの昆虫たちが集まっていた。  
ピワは、バラ科の常緑高木で白い五枚の花弁が美しい。この時期、メジロヒヨドリたちが次々とピワの木を目指して飛んできた。どの鳥も花の蜜を吸うのに懸命である。幸いにもピワの花は多く咲いているので鳥たちも争うことも少ないので安心した。  
ピワの木の下に来ると何かすっとするような弱い芳香性の香りがした。  
人間と違って鳥たちは、とっくにこの香りに気づき集まっているのかもしれないと思った。  
初夏になるとオレンジ色の実をたくさんつけるピワは、ビタミン類やポリフェノールなどを含み動脈硬化や高血圧などの予防に適している。栄養豊富で人気の健康食品であるが、食べすぎは禁物である。  
今日は、何気なく見ていたメジロに五感を通して学ぶことの大切さを教えてもらった良い一日だった。(吉田)